

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年10月18日(2018.10.18)

【公表番号】特表2017-532099(P2017-532099A)

【公表日】平成29年11月2日(2017.11.2)

【年通号数】公開・登録公報2017-042

【出願番号】特願2017-513071(P2017-513071)

【国際特許分類】

A 6 1 M 27/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 27/00

【手続補正書】

【提出日】平成30年9月6日(2018.9.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

機器において、

パネルと、

前記パネルに一体化された流体流路と、

前記パネルに一体化されるとともに前記流体流路に流体的に結合されたポートとを備え

、
前記パネル、前記流体流路、および前記ポートが、ストレートブル表面からなることを特徴とする機器。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の機器において、一体型流体導管を形成するために前記流体流路に結合されたシールを更に備えることを特徴とする機器。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の機器において、前記パネルに一体化されるとともに前記流体流路に沿って延びる隆起部を更に備えることを特徴とする機器。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の機器において、前記ポートが位置合わせポストと流体導管とを備え、かつ前記流体導管が前記流体流路に流体的に結合されることを特徴とする機器。

【請求項 5】

請求項 1 に記載の機器において、

一体型流体導管を形成するために前記流体流路に結合されたシールと、

前記ポートに流体的に結合された空気圧構成要素と

を更に備えることを特徴とする機器。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の機器において、前記空気圧構成要素がポンプであることを特徴とする機器。

【請求項 7】

治療機器において、

パネルを備えるハウジングと、

前記パネルに一体化された流体流路であって、前記流体流路および前記パネルがストレ

ートブル表面からなる、前記流体流路と、

前記パネル内に一体型流体導管を形成するために前記流体流路に結合されたシールと、
前記ハウジング内に配置されるとともに前記一体型流体導管に流体的に結合された空気
圧構成要素と

を備えることを特徴とする治療機器。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の治療機器において、前記空気圧構成要素が陰圧源であることを特徴と
する治療機器。

【請求項 9】

請求項 7 に記載の治療機器において、前記空気圧構成要素がポンプであることを特徴と
する治療機器。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の治療機器において、前記ポンプが、前記ポンプから流体を排出するよ
うに構成された陽圧ポートを備え、かつ前記陽圧ポートが前記一体型流体導管に流体的に
結合されることを特徴とする治療機器。

【請求項 11】

請求項 10 に記載の治療機器において、前記陽圧ポートの下流側で前記一体型流体導管
に流体的に結合された膨張室を更に備えることを特徴とする治療機器。

【請求項 12】

請求項 11 に記載の治療機器において、前記膨張室が前記パネルに一体化されるととも
にストレートブル表面からなることを特徴とする治療機器。

【請求項 13】

請求項 12 に記載の治療機器において、前記膨張室内に配置された少なくとも 1 つのバ
ッフルを更に備えることを特徴とする治療機器。

【請求項 14】

請求項 12 に記載の治療機器において、前記膨張室が蛇行経路に沿って流体を導くよう
に構成されることを特徴とする治療機器。

【請求項 15】

請求項 10 に記載の治療機器において、前記流体流路の少なくとも一部分が蛇行してい
ることを特徴とする治療機器。

【請求項 16】

請求項 7 に記載の治療機器において、前記ハウジングが、第 1 のハウジングと第 2 のハ
ウジングとを備え、かつ前記第 1 のハウジングを前記第 2 のハウジングに結合する
締結具を更に備え、前記締結具が前記流体流路の内側における前記パネルを貫通して配置
されることを特徴とする機器。

【請求項 17】

請求項 7 に記載の治療機器において、少なくとも 2 つの流体流路と、少なくとも 2 つの
空気圧構成要素とを備え、かつ前記空気圧構成要素を前記流体流路に結合するよう
に構成された継手を更に備えることを特徴とする治療機器。

【請求項 18】

請求項 7 に記載の治療機器において、
前記空気圧構成要素が、陰圧ポートと陽圧ポートとを備える陰圧源であり、
前記陰圧ポートが流体容器に結合されるように構成され、かつ
前記陽圧ポートが前記一体型流体導管に流体的に結合されることを特徴とする治療機器
。

【請求項 19】

請求項 8 に記載の治療機器において、前記陰圧源に流体的に結合されたドレッシングを
更に備えることを特徴とする治療機器。

【請求項 20】

請求項 8 に記載の治療機器において、

前記陰圧源に流体的に結合された流体容器と、
前記流体容器に流体的に結合されたドレッシングと
を更に備えることを特徴とする治療機器。

【請求項 2 1】

治療機器において、
一体型流体流路を備えたハウジングと、
一体型流体導管を形成するために前記一体型流体流路を覆うように前記ハウジングにし
っかりと固定されたシールとを備え、
前記ハウジングがストレートプル成形型により成形されることを特徴とする治療機器。

【請求項 2 2】

請求項 2 1 に記載の治療機器において、継手を通じて前記一体型流体導管に流体的に結
合された空気圧構成要素を更に備えることを特徴とする治療機器。

【請求項 2 3】

請求項 2 1 に記載の治療機器において、前記継手が単一のユニットとして作製されるこ
とを特徴とする治療機器。

【請求項 2 4】

陰圧療法を提供するための機器において、
第 1 のハウジングと、
第 2 のハウジングと、
前記第 2 のハウジングに結合されたパネルと、
前記パネルに一体化された第 1 の流体流路と、
前記パネルに一体化された第 2 の流体流路と、
前記パネルに一体化されるとともに前記第 1 の流体流路に流体的に結合された第 1 の流
路ポートと、
前記パネルに一体化されるとともに前記第 2 の流体流路に流体的に結合された第 2 の流
路ポートと、
前記第 1 のハウジングと前記第 2 のハウジングとの間に配置されたポンプであって、前
記第 1 の流路ポートに流体的に結合された陰圧ポートと、前記第 2 の流路ポートに流体的
に結合された陽圧ポートとを備える前記ポンプと、
前記パネルに結合されるとともに前記陰圧ポートの上流側で前記第 1 の流体流路に流体的
に結合されたキャニスタポートと、
前記パネルに結合されるとともに前記陽圧ポートの下流側で前記第 2 の流体流路に流体的
に結合された膨張室と、
前記第 1 の流体流路と前記第 2 の流体流路とを覆うように前記パネルに結合された接着
ラベルと
を備えることを特徴とする機器。

【請求項 2 5】

請求項 2 4 に記載の機器において、前記パネル、前記第 1 の流体流路、前記第 1 の流路
ポート、前記第 2 の流体流路、前記第 2 の流路ポート、前記キャニスタポート、および前
記膨張室が、少なくとも 1 つの向きに正の離型角度を有する表面からなることを特徴とす
る機器。

【請求項 2 6】

請求項 2 4 に記載の機器において、前記キャニスタポートに流体的に結合された流体容
器を更に備えることを特徴とする機器。

【請求項 2 7】

請求項 2 4 に記載の機器において、
前記キャニスタポートに流体的に結合された流体容器と、
前記流体容器に流体的に結合されたドレッシングと
を更に備えることを特徴とする機器。

【請求項 2 8】

製造方法において、

ストレートプル成形型によりパネルを成形するステップであって、前記成形型が前記パネル内に流路を形成する、前記成形するステップと、

一体型流体導管を形成するために前記流路を覆うようにシールを前記パネルに貼り付けるステップと

を含むことを特徴とする方法。

【請求項 29】

請求項 28 に記載の方法において、前記シールがポリエステルフィルムを含むことを特徴とする方法。

【請求項 30】

請求項 28 に記載の方法において、前記シールが製品ラベルであることを特徴とする方法。

【請求項 31】

請求項 28 に記載の方法において、前記成形型が、前記流路に流体的に結合されたポートを更に形成し、前記ポートが、前記流路を空気圧構成要素に結合するように構成されることを特徴とする方法。

【請求項 32】

請求項 28 に記載の方法において、空気圧構成要素を前記一体型流体導管に結合するステップを更に含むことを特徴とする方法。

【請求項 33】

請求項 28 に記載の方法において、前記成形型が、前記流路に流体的に結合された膨張室を更に形成することを特徴とする方法。